

東海第二原発を廃炉に！

「6.16 院内ヒアリング集会」にご参加願います

期日:6月16日(月) 13時45分～17時30分

場所:衆議院第2議員会館第6会議室(地下1階)

呼びかけ団体:とめよう!東海第二原発首都圏連絡会

「東海第二原発の再稼働を問う院内集会」概要

・13時30分 通行証配布(参加者入室)

・13時45分～14時15分 主催者からの主旨説明

事前のレクチャー(東海第二原発をめぐる諸問題)

・14時15分～15時55分 規制庁ヒアリング

(防潮堤欠陥工事問題/中央制御室からの出火・火災問題など)

10分休憩

・16時5分～16時55分 経産省ヒアリング

(経理的基礎を欠く原電に原発を動かす資格はあるのか)

・17時～17時30分 国会議員・参加者との意見交換 今後の予定

《院内集会主旨》

原電は、東電はじめ電力5社からの多額の財政支援をあてに2024年9月の再稼働に向け工事を進めてきました。ところが、防潮堤基礎工事に欠陥があることが工事関係者の内部告発で相次いで発覚。規制庁から建て直しを含む設計の見直しを指摘された原電は、工事の完了を2026年12月に延期すると発表。

現在、規制庁との間で工事計画についての話し合いが行われています。

私達は、この14年間1ワットも発電出来ずに、電力他社から1兆数千億円にのぼる基本料収入を得ている原電には原発を安全に動かし続ける経理的基礎はないと考えます。

また、相次ぐ火災の発生など、設備の老朽化と安全管理体制に問題があることを指摘せざるを得ません。こうした問題を規制庁と経産省に問い質すヒアリングを多数の皆様参加を得て開催したいと思えます。

*参考記事—原電、原発動かなくとも黒字(5/16朝日新聞14面)

原電は2025年3月期決算が電力5社から1076億円の基本料収入を得て、純利益44億円の黒字と発表した。原発が停止して以来、電力5社から1兆5千億円が支払われている。